

2026 学校要覧



富山県立富山聴覚総合支援学校

〒930-0817 富山市下奥井1丁目9番56号

TEL (076) 441-9172 (事務室)

(076) 441-9011 (職員室)

FAX (076) 441-9188 (事務室)

E-mail: toyamachokaku@ed.pref.toyama.jp

U R L: <https://www.toyamat-sh.tym.ed.jp>



本校HPへ

教育目標

障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する力を養い、友愛の中に自己を実現し、社会的に自立する明るくたくましい人間を育成する。

〈校訓〉

◆仲よく楽しく
学びましょう

◆恐れずくじけず
励みましょう

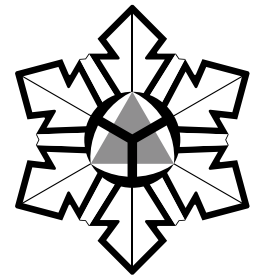
◆明るく正しく
生きましょう

教育方針

- ア 一人一人の教育的ニーズに応じた教育を推進する。
 - ・基礎的・基本的な学力の育成を図る。
 - ・全ての教育活動を通して自主性や社会性の伸長を図る。
 - ・健康や安全についての自己管理能力や生活習慣及び体力の向上を図る。
- イ コミュニケーション力の拡充に努める。
 - ・個々に応じたコミュニケーション手段（聴覚口話、手話等）を用いたり、支援機器や代替手段を活用したりしながらコミュニケーション力の育成を図る。
 - ・社会自立につながる言語力と表現力を育成する。
- ウ 心豊かにたくましく生きる人を育成する。
 - ・豊かな将来を思い描き、自己実現に向けて取り組む主体性を育む。
 - ・障害の理解とともに、自己有用感を高める。
 - ・体験学習を重視し、勤労観、職業観や進路選択能力を育成する。
 - ・社会的自立・職業的自立に向けて必要な態度や能力及び社会性を養う。
- エ 共生社会の実現を目指す。
 - ・個性と人権を尊重する教育を推進し、共に学び、共に生活する中で、人と関わる力や地域で生きる力を育成する。
 - ・聴覚障害教育センターの役割を果たすとともに、地域に開かれた学校づくりを推進する。

校章について

- ◇周りは雪の結晶を図案化し、風雪に耐えることを願っている。
- ◇中心の三つのTは、富山（Toyama）、聴覚（Tyoukaku）、聴覚障害と知的障害の生徒が「共に」学ぶ（Together）を意味し、手を取り合って新しい課題に取り組む子供たちの姿勢を表現している。
- ◇中央の緑の三角形は、校舎から見える立山を図案化しており、豊かな自然、地域に根を張った学校、厳しさに耐えながら大きくはばたく子供たちをイメージし、教育目標の「友愛の中の自己実現」「社会的自立」を示している。



校章

沿革

- 昭6.4 私立富山訓盲院（富山市千石町 中林初太郎院長）に聾啞部を設置し、県立代用校となる。
- 7.4 富山県に移管し、富山県立盲啞学校と改称
- 14.5 富山市上赤江に校舎新築移転
- 20.8 戦災のため校舎焼失
- 23.4 盲学校及び聾学校の就学義務及び設置義務に関する政令の公布により県立盲学校と県立聾学校に分離小・中・高等部設置
- 11 現在地である立山重工業株式会社青年学校跡に移転
- 29.4 富山県立聾学校高岡分校設置
- 34.4 高等部に専攻科を設置
- 37.4 幼稚部を設置
- 40.4 高岡分校の独立に伴い、校名を富山県立富山ろう学校と改称
- 46.4 教育相談学級開設
- 56.11 創立50周年記念式典挙行
- 平6.4 高等部3学科科名変更 産業工芸科、機械科、家政科（専攻科においては生活情報科）を設置
- 10.4 高等部家政科を生活情報科に科名変更（平10入学生より）
- 18.3 体育館改築工事完成
- 18.9 普通教室棟耐震補強工事完成
- 22.4 富山県立富山聴覚総合支援学校と改称
高等部に軽度知的障害のある生徒を対象とした福祉・サービス科を設置
- 22.8 管理教室棟改築工事完成
- 23.10 創立80周年記念式典挙行
- 令3.10 創立90周年記念式典挙行
- 8.3 長寿命化改修（第1期）工事完成

本校の特色

- ・本校では聴覚に障害のある幼児児童生徒と軽度の知的障害のある高等部の生徒が、障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服し、自立して社会参加することや、共に学び、共に生活して、地域社会で活躍することを目指して学んでいます。
- ・聴覚障害のある幼児児童生徒を対象とした、幼稚部、小学部、中学部、高等部、高等部専攻科があり、幼稚部には0歳、1歳、2歳児のための乳幼児教室があります。また、軽度知的障害のある生徒を対象として、高等部に福祉・サービス科を設置しています。
- ・個別の教育支援計画及び個別の指導計画を作成し、一人一人の教育的ニーズに応じた教育を行っています。
- ・コミュニケーション能力を養い、社会性や望ましい人間関係を育てるために、それぞれの学部が地元の保育園や学校と交流活動を行っています。
- ・聴覚障害教育センターとして、保育園(所)、幼稚園、こども園、通常の学校、特別支援学校に在籍する聴覚障害児及び卒業生を含む成人聴覚障害者を支援しています。
- ・中学部・高等部の全員が卓球部に所属して活動しています。生徒会には執行部、図書委員会、保健委員会、ボランティア委員会があります。

主な行事

1 学期	2 学期	3 学期
<ul style="list-style-type: none"> ・入学式 ・遠足 (幼) ・校外学習 (小) ・交通安全教室 ・体育大会 ・なつまつり (幼) ・交流及び共同学習 (幼) ・職場体験 (中) ・就業体験 (高) ・北陸地区ろう学校親善体育大会 石川大会 (中・高) ・学部集会 ・共同宿泊学習 (小) 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み作品展 (幼・小) ・修学旅行 (高) ・遠足 (幼) ・学習発表会 ・交流及び共同学習 (幼・小・中) ・クリスマス会 (幼・小) ・球技大会 (中・高) ・就業体験 (高) ・校外学習 (小・中) ・学部集会 ・ハロウィン (幼) ・おはなし会 (幼) 	<ul style="list-style-type: none"> ・書き初め大会 (小) ・交流及び共同学習 (高) ・豆まき、ひなまつり (幼) ・耳の日の行事 ・課題研究発表会 (高) ・お別れ会、卒業生を送る会 ・卒業式 ・修了式



体育大会



学習発表会



修学旅行



共同宿泊学習



全国聾学校卓球大会



なつまつり

幼児児童生徒在籍数

学部	幼稚部					小学部							中学部					高等部									合計			
	聴覚障害			聴覚障害専攻科		知的障害			計																					
学年	1	2	3	重	計	1	2	3	4	5	6	重	計	1	2	3	重	計	1	2	3	重	1	2	1	2	3	計		
幼児児童生徒数	男	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	2	0	2	0	0	2	0	2	2	2	0	0	6	4	1	17	22
	女	0	0	0	2	2	1	1	0	1	0	0	2	5	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	0	1	3	11
	合計	1	0	0	2	3	1	1	0	1	2	0	2	7	0	2	0	1	3	0	2	2	2	0	0	8	4	2	20	33
学級数	2					5							2					6									15			

幼児児童生徒の障害の状態

障害種	学部	幼稚部		小学部		中学部		高等部						計
		聴覚障害			聴覚障害専攻科		知的障害							
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
聴覚障害	79dB以下	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	/	/	4
	80dB~99dB	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	/	/	4
	100dB以上	1	2	0	5	1	0	2	0	0	0	/	/	11
知的障害		/		/		/		/		/		11	3	14
計		3		7		3		6		0		14		33

地区別幼児児童生徒数

学部	地区	朝日町	入善町	黒部市	魚津市	立山町	上市町	舟橋村	滑川市	富山市	射水市	高岡市	計
		幼稚部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0
小学部	0	0	1	0	0	0	0	0	1	4	1	0	7
中学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3
高等部	聴覚障害	0	0	0	0	0	0	0	1	5	0	0	6
	聴覚障害専攻科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	知的障害	0	1	1	1	0	0	0	0	10	1	0	14
計		0	1	2	1	0	0	0	2	25	2	0	33

卒業生の進路状況

学部 年度	中 学 部				高 等 部					専 攻 科			
	進 学	就 職	そ の 他	計	進 学		就 職	そ の 他	計	進 学	就 職	そ の 他	計
					専攻科	その他							
R3	1	0	0	1	0	0	6	0	6	0	0	0	0
R4	3	0	0	3	0	0	5	1	6	0	1	0	1
R5	1	0	1	2	0	1	8	1	10	0	0	0	0
R6	2	0	0	2	0	0	5	0	5	0	0	0	0
R7	2	0	0	2	0	0	8	2	10	0	0	0	0

職 員 構 成

職 名	校 長	教 頭	教 諭	再 任 用 教 諭	養 護 教 諭	栄 養 教 諭	実 習 教 諭	臨 任 実 習 助 手	臨 任 講 師	事 務 長	主 任	主 事	会計年度任用職員							計
													講 師	非 常 勤	校 務 助 手	炊 事 員	館 司 書	学 校 図 書	補 助 員	
男	0	0	6	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	11
女	1	2	17	0	1	1	1	0	4	1	1	0	1	0	5	1	3	1	1	40
計	1	2	23	1	1	1	1	1	4	1	1	1	1	2	5	1	3	1	1	51

教育相談・入学手続き等

■聴覚障害教育に関する相談・支援

- ・ 0～5歳児を対象とした乳幼児教室があり、最早期教育に努めています。
- ・ 随時、きこえやことばに関する教育相談及び学校見学を行っています。
- ・ 小・中学校の通常の学級に在籍している児童生徒に対して、通級による指導を行っています。
- ・ 必要に応じて、特別支援教育コーディネーターが訪問相談を行います。

■知的障害教育に関する相談・支援

随時、学校生活や進路等についての相談を行っています。

■電話やメールにて気軽にお問合せください。

■入学手続き

◇小・中学部

市町村教育委員会が総合的に判断・決定し、県教育委員会の通知により入学が認められます。

◇幼・高等部

入学検査の結果に基づいて入学が認められます。

出願に際しては、事前に本校の教育相談を受けてください。

■在学中の経費

- ・ 授業料はありません。
- ・ 給食費、学用品費、通学費等の経費については、家庭の実情に応じて国及び県から就学奨励費として補助されます。

教 育 課 程

◆幼稚部

数字は週時数

領域	普通級			重複級		
	3歳児	4歳児	5歳児	3歳児	4歳児	5歳児
健康	16	18	18	14	16	16
人間関係						
環境						
言葉						
表現						
自立活動	5	5	5	7	7	7
合計	21	23	23	21	23	23



秋探し

◆小学部

数字は週時数

教科	普通級						重複級					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
国語	9	9	7	7	5	5	2	3	3	3	3	3
社会			2	2.6	2.9	3						
算数	4	5	5	5	5	5	2	2	3	3	3	3
理科			2.6	3	3	3						
生活	3	3										
音楽	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2
図画工作	2	2	1.7	1.7	1.4	1.4	2	2	2	2	2	2
家庭					1.7	1.6						
体育	3	3	2.7	2.7	2	2	3	3	3	3	3	3
外国語					2	2						
特別の教科 道徳	1	1	1	1	1	1						
特別活動	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
自立活動	2	2	2	2	2	2	6	6	6	6	6	6
日常生活の指導							5	5	5	5	5	5
遊びの指導							1	1				
生活単元学習							2	2	3	4	4	4
外国語活動			1	1								
総合的な学習の時間			1	1	1	1						
合計	26	27	28	29	29	29	26	27	28	29	29	29



教科学習



学部集会

◆ 中学部

数字は週時数

教科	学年	普通級			重複級		
		1	2	3	1	2	3
国語		4	4	3	3	3	3
社会		3	3	4	1	1	1
数学		4	3	4	3	3	3
理科		3	4	4	1	1	1
音楽		1	1	1	1	1	1
美術		1	1	1	2	2	2
保健体育		3	3	3	3	3	3
技術・家庭		2	2	1			
外国語		4	4	4	1	1	1
特別の教科 道徳		1	1	1			
特別活動		1	1	1	1	1	1
自立活動		2	2	2	4	4	4
日常生活の指導					2	1	1
生活単元学習					3	3	3
作業学習					3	4	4
総合的な学習の時間		1	1	1	2	2	2
合計		30	30	30	30	30	30



教科学習



手話学習会

◆ 高等部

聴覚障害教育 普通級 }
 重複級 }
 専攻科 }
 ■産業工芸科 ■機械科 ■生活情報科

《高等部普通級》

数字は単位数

教科・科目		学年	1	2	3
国語	現代の国語		2		
	言語文化		2		
	国語表現			3	3
	古典探究				*4
地理歴史	歴史総合		2		
	地理総合				2
公民	公共		2		
数学	数学Ⅰ		3		
	数学Ⅱ			1	3
	数学A			2	
	数学B				
理科	科学と人間生活		2		
	物理基礎			■2	*2
	化学基礎			■2	*2
保健体育	体育		2	2	3
	保健		1	1	
芸術	音楽Ⅰ			□2	
	美術Ⅰ			□2	
	書道Ⅰ			□2	
外国語	英語コミュニケーションⅠ		3		
	英語コミュニケーションⅡ			2	2
	論理・表現Ⅰ				*2
家庭	家庭総合		2	2	
情報	情報Ⅰ		工業情報数理・生活産業情報で代替		
共通教科・科目計			19	19	13・15・17
専門教科・科目計			8	8	10・12・14
合計			27	27	27
総合的な探究の時間			課題研究で代替		
ホームルーム活動			1	1	1
自立活動			2	2	2
合計			30	30	30

□より1科目2単位 ■より1科目2単位 *より合計4単位を履修)



教科学習



手話学習会

《重複級》

数字は週時数

教科		学年	1	2	3
共通教科	国語		3	2	2
	社会		1	(1)	(1)
	数学		2	2	2
	理科		1	(1)	(1)
	音楽		1	1	1
	美術		2	1	1
	保健体育		3	3	3
	職業		(1)	(1)	(1)
	家庭		2	2	2
	外国語		1	1	1
情報					
共通教科計			16(1)	12(3)	12(3)
専門教科計			(7)	(9)	(9)
特別の教科 道徳/道徳		1	(1)	(1)	
特別活動		1	1	1	
自立活動		3	3	3	
日常生活の指導					
生活単元学習			3	3	
作業学習		8	10	10	
総合的な探究の時間		1	1	1	
合計		30	30	30	

() :各教科等を合わせた指導

産業工芸科

数字は単位数

教科・科目		学年		
		1	2	3
工	工業技術基礎	2		
	課題研究			3
	実習	2	6	5 * 2
	製 函	2	2	2
業	工業情報数理	2		
	工業技術英語			* 2
	デザイン材料			* 2
専門教科・科目計		8	8	10・12・14

(*は共通科目・専門科目より合計4単位選択履修)

産業工芸科

産業工芸に関する知識や技術を習得し、それを活用する能力や情報科目の学習を通して、情報活用能力を高めます。



機械科

数字は単位数

教科・科目		学年		
		1	2	3
工	工業技術基礎	2		
	課題研究			3
	実習		4	5 * 2
	製 函	2	2	2
業	工業情報数理	2		
	機械工作	2		* 2
	機械設計		2	* 2
	電子機械			* 2
	自動車工学			* 2
専門教科・科目計		8	8	10・12・14

(*は共通科目・専門科目より合計4単位選択履修)

機械科

工業に関する知識や技術を習得し、それを活用する能力やIT関連技術の活用についても、体験的な学習を取り入れながら、情報化時代に対応した知識や技術の習得を目指します。



生活情報科

数字は単位数

教科・科目		学年		
		1	2	3
家	生活産業基礎	2		
	課題研究			3
	生活産業情報	2	2	2
	保育基礎		2	
庭	生活と福祉			* 2
	住生活デザイン			* 2
	ファッション造形基礎	2	2	3
	フードデザイン	2	2	2
専門教科・科目計		8	8	10・12・14

(*は共通科目・専門科目より合計4単位選択履修)

生活情報科

家庭に関する基本的な知識と技術を習得し、情報化時代に対応した学習活動を行います。また、職業的資質の基礎となる各種技能の習得を目指します。



《高等部専攻科》

数字は単位数

教科・科目		学年	
		1	2
国語	文学国語	2	2
地理歴史	歴史総合	2	
公民	政治・経済		2
数学	数学Ⅱ	2	2
理科	科学と人間生活	2	
保健体育	体育	2	2
外国語	英語コミュニケーションⅠ	2	
	論理・表現Ⅰ		2
共通教科計		12	10
専門教科・科目計		16	18
ホームルーム活動		1	1
自立活動		1	1
合計		30	30

■産業工芸科

数字は単位数

教科・科目		学年	
		1	2
工業	課題研究	3	3
	実習	5・△2	5・▲2
	製図	2	2
	セラミック技術	2	2
	染織デザイン		▲2
	インテリアエレメント生産	△2	▲2
	デザイン実践	2	2
専門教科・科目計		16	18

(△より1科目2単位を選択 ▲より2科目4単位を選択)

■機械科

数字は単位数

教科・科目		学年	
		1	2
工業	課題研究	2	3
	実習	5	6
	製図	3	3
	工業情報数理	2	▲2
	機械工作	2	▲2
	機械設計	2	▲2
	電子機械		▲2
業	生産技術		2
	自動車工学		▲2
	専門教科・科目計	16	18

(▲より2科目4単位を選択)

■生活情報科

数字は単位数

教科・科目		学年	
		1	2
家庭	課題研究	3	3
	生活産業情報	2・△2	2・▲2
	消費生活		▲2
	保育基礎	△2	▲2
	生活と福祉		▲2
	住生活デザイン	△2	▲2
	ファッション造形	4	4
庭	装飾手芸	△2	▲2
	調理	3	3
	専門教科・科目計	16	18

(△より2科目4単位を選択 ▲より3科目6単位を選択)



課題研究発表会

知的障害教育

■福祉・サービス科

■福祉・サービス科

数字は週時数

教科		学年		
		1	2	3
共通教科	国語	2	2	2
	社会	1	1	1
	数学	2	2	2
	理科	1	1	1
	音楽	1	1	1
	美術	1	1	1
	保健体育	3	3	3
	家庭	2	2	2
	外国語	1	1	1
情報	1	1	1	
共通教科計		15	15	15
専門教科	福祉／流通・サービス	8	8	8
	ワークトレーニング	3	3	3
専門教科計		11	11	11
特別の教科 道徳		1	1	1
特別活動		1	1	1
自立活動		1	1	1
総合的な探究の時間		1	1	1
合計		30	30	30

福祉・サービス科

職業に関する専門教科が3つあります。「福祉」「流通・サービス」は、1年で基礎実習を体験し、2・3年次は自分の適性に合った教科を選択してより専門的な学習を行います。「ワークトレーニング」は、全学年を3つに分け、3年間で全ての実習を体験します。

「福祉」

福祉に関する職業に必要な力と態度、福祉の心を育てます。



「流通・サービス」

流通やサービスに関する職業に必要な力と態度を育てます。



「ワークトレーニング」

ものづくりを通して、就労への意識や態度を育てます。

